



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／竹村 一幸
- 副会長／小野 仁 中畑 隆一
- 幹事／小口 泰史
- 会報・雑誌・広報委員長／坂井 忠彦

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939 ・ URL: <http://okayarc.org> ・ E-mail: okayarc@amber.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2327 回例会 2007 年（平成 19 年）2 月 13 日（火）

司 会：宮坂 伸
点 鐘：竹村一幸
斉 唱：手に手つないで
結 婚 祝：山岡正邦

ラッキーNo.：No. 38 山岡晴男



誕生祝

会長挨拶

ノーベル平和賞を受賞したバングラディッシュの経済学者のムハマド・ユヌスさんは「貧困は後から人為的に押し付けられた問題だ。貧困の全くない世界を作りたい」との理念を掲げてマイクロクレジットと呼ばれる貧困層を対象にした小額無担保融資事業を世界 60 ヶ国で推進しております。

「ビジネスは儲ければ良いというわけではない、ビジネスで善を行う事が大切だ」と企業による社会事業を推奨するユヌスさんは利益追求だけでは人間の役割を限定してしまうと考えている。

趣旨に賛同する企業も徐々に増えてきており、ユヌスさんが設立したグラミン(村落)銀行はフランスの大手食品会社ダノン社との合弁で栄養補助食品会社を立上げヨーグルトを低価格で提供し栄養失調で苦しむバングラディッシュの子供達を救済している。社会事業の色合いが濃くダノン社が回収できるのは投資分だけで、利益は全て次の社会事業に回されるそうです。

テロや争乱の元凶も貧困に帰結するとも言っていますし、汚職の原因も「一つのグループが強大な力を持ち過ぎるのはいけない。政府に頼り過ぎれば政府が強大になり過ぎる。エリートだけが社会を牛耳れば汚職が生まれる」と明快な話をしておりました。何かロータリーも協賛できそうな事業で、世界にロータリー銀行が出来ませんか？ 今月はロータリー「世界理解月間」です。

幹事報告

- ・ 市役所秘書課よりマンガ岡谷市政・シリーズ 2 が届きました。各テーブルにお配りしましたのでお読み下さい。



諏訪信用金庫 理事長

花岡 柗好 様

卓 話 「亥年は株高？」

諏訪の景気動向等について

歴史あるクラブにお招き頂きありがとうございます。と言うものの皆様よく存じ上げているお顔ばかりで緊張しております。今日は平成 19 年度の地域経済についてお話をさせていただきます。

1・地域経済について

産業別に進めてまいりたいと思います。

① 製造業

諏訪地方の主要産業の変遷については皆様ご承知のところではありますが、戦前は岡谷市を中心とした製糸業でありまして諏訪に関係する製糸企業が日本の生糸の 60%を占めた時代もあったと聞いております。戦後はナイロンの発明などにより製糸業は壊滅的打撃を受けてしまいましたが換わって精密機械や電気機械が主流産業となっております。

戦後、昭和 50 年代半ばまで精密機械(時計、カメラなど)が一番であり、精密機械が製造品出荷額の 50%を占めておりました。その後平成 2 年に電気機械産業が 1 番となり、ついで機械産業が 2 番目の産業となり現在精密機械は 4 番目で 8%台となっております。

因みに最近の工業統計では電気産業 45.0%、223 社。機械産業 12.5%、151 社。輸送用機械 8.6%、45 社。精密機械 8.3%、109 社となっております。これらの産業を支えるプレス、メッキ、熱処理など幅広い業種の企業群が地域の特徴となっておりますことはご承知のところでもあります。

電子工業では、液晶テレビ、薄型テレビは大幅な生産増が見込まれるが供給過剰の状況で生産は拡大しており価格競争の激化が予想される状況にあります。

携帯電話は、1月28日の日経によるとノキアの発表では2006年の世界の販売台数は978百万台で前年比23%伸びたとのことであり、BRICs(新興経済4国)での販売台数の伸びが著しいようです。

只今の話と別に気になる情報もあります。シリコンサイクルと同様に携帯電話サイクルがあり、昨年後半から携帯電話は2年周期の在庫調整が始まっているとの見方をする証券会社があります。経済予測は一致することは少なく誰かが強気の予測をすれば一方は弱気の見方をすることが多いわけですが、先行き慎重な見方も必要かと思えます。

プリンターは、アメリカ、日本、ヨーロッパ市場の普及率は高く、現在世界市場はBRICsでの中級機の販売競争により市場が拡大しているとのことであります。

エプソンでは価格競争によるシェア競争から高級機に機種を絞り収益改善を図り今回の決算でも高収益を計上したようであります。

自動車は一番安定した業種で順調な伸びをしており今後も期待される産業でありまして、諏訪地域企業も参入を目指し多くの企業が新たな取引をはじめております。2002年に初めて1000万台を突破して以降4年連続して1000万台を突破し昨年は1148万台に達し着実に伸びております。2005年に国内で生産された4輪自動車は1080万台のうち輸出が505万台で生産台数の46.7%が輸出されております。

次に2007年の国内の需要について自動車工業会の発表では国内需要を563万台と予測しており輸出を含めると生産台数は1000万台を維持すると思われれます。一方、不安材料も一部に見られます。2005年に初めて国内メーカーの海外生産台数が国内生産台数を上回ったように、今後の海外展開によっては国内生産が減少する恐れもありコスト競争は今後も続くように思います。

一眼レフデジタルカメラは、カメラ映像機器工業会では2007年から2008年出荷見通しを発表しましたが、レンズ交換式一眼レフについては国内、国外ともに出荷台数の伸びを10%以上と見ております。キャノン、ニコン、オリンパスなどメーカー各社の社長さんは強気の発言をしており、地域の交換レンズ加工企業は切削やメッキなどで業績を伸ばし繁忙をきたしており今後も期待されております。

次に諏訪地域製造業の現況について話を進めてまいりますと諏訪信用金庫では3ヶ月毎に地域の景気動向調査を行っております。300社近くの企業の皆様のご協力を頂き大手企業のヒヤリングなどから景気動向をまとめております。たまたま調査分析中ですが概略についてホットな情報として説明致します。

3ヶ月前と比べ業況判断DIは△6.4ポイントで昨年4月以降4期ぶりに業況悪化が多くなっております。製造業の受注が昨年9月から10月をピークに幾分減少傾向となっておりまして、中でも業種的に諏訪地域製造業の45%のウエイトを持つ電気機械関連企業（情報端末機器、携帯電話、部品やデバイスなど）の受注が「3ヶ月前」に比べ2期連続して減少企業が多くなっております。

観光・サービス業は季節変動が大きい異業種であります。今回の調査では雪不足からスキー場などが影響を受けておりますが独自イベントなど懸命な業務努力により宿泊客が増加した旅館、ホテルがみられ「前年同期比」では昨年1月以降4期ぶりにプラスになっております。

受注動向DIは製造業の「3ヶ月比」につきましては2期連続して減少企業が多くなっております。先ほど説明いたしましたが、電気機械に受注減少企業が多くなっておりますが「3ヶ月後の予想」では自動車関連企業、電気機械関連企業に受注が増加すると見る企業が多く製造業全体で24.2%の企業は受注が増加するとみております。

収益性D Iについては回答企業全社では11期連続してマイナスとなっており、製造業は4期連続してマイナスとなっております。製造業ではニッケルが含まれるステンレスなどの素材の高騰や受注単価の引き下げなどから収益性確保が難しい状況となっております。業況判断D Iからみても景気回復の実感が少ないとの経営者の発言が分かるような気がします。

地元メーカー各社は好決算を発表しておりますが、為替差益による利益計上が大きいに思われます。昨年春頃のヒヤリング調査では1ドル105円と設定した企業が多かったようですが7月頃に1ドル107円となったときがあり、その後110円以上120円台まで円安が進んだときもあります。現在2007年度の事業計画を策定しているところもありますが、110円程度に設定した企業が多いように聞いております。このまま円安が続けば為替差益による業績が期待されます。

海外進出については、ジェトロの資料によりますと諏訪地域に関連する企業の70社が海外に170の工場を作ったようですが、昨年から今年にかけては大幅に減少し、新たに工場を立地した企業は2、3企業となっております。

② 建設業

建設業については数年来公共工事が急激に減少し苦しんでおりましたが、災害復興工事の入札が行われ土木工事は一気に増えたことから地域大手企業は今年は久方ぶりに活況を見せるものと思われまます。

③ 観光

どこの観光地も同じ悩みを抱えているようですが、団体客が減少しており諏訪地域の旅館、ホテルも同様な悩みを抱えております。インターネット予約など個人客の確保にいろいろな工夫をしており、効果を挙げているところも見られます。今年はNHK大河ドラマ「風林火山」効果が期待できるほか、ヘルスツーリズム効果が期待でき、うれしいことだと思います。

また、JTBでは「日本の旬」キャンペーンで今年前半は信州を取り上げるようになっており、信州を重点として誘客活動を行うことになっており期待しております。

2・日本経済の動向について

最初に私ども全国の信用金庫のシンクタンクであります信金中央金庫総合研究所の経済予測をご紹介します。

① 2006年度の実質経済成長率については2.4%と予測しております。要因としてはアメリカへの自動車やアジア各国への素材や部品の輸出が順調であること、機械など民間設備投資が堅調であることを上げております。

② 2007年については実質経済成長率を2.1%と予測しております。輸出はアメリカ経済が幾分減速しアメリカ向けは幾分減少する可能性はあるが、アジア地域の景気は堅調で素材や部品の輸出が減少する可能性が小さいことから輸出の伸び率は幾

分鈍化するものの実質成長に貢献すると見られること、機械設備投資の拡大は、一服するとみられるが個人消費が回復すると見られることなどから 2007 年の実質経済成長率は 2.1%と予測しております。

③ 日経平均株価についてチョット触れさせていただきますと、現在 17,500 円前後となっております。今年の干支は「亥の年」であります。昔から「亥年は株が上がる」といわれており大いに期待しております。

2007 年の諏訪地方の経済は、集約すれば景気回復感は弱いものの製造業は素材高騰や受注単価引き下げなど収益確保に課題を抱えながらも受注や設備投資、効用計画などから昨年に続き緩やかな持続的回復が続くものと思われま。

観光、建設業にも明るい話題があることから地域全体とすれば昨年以上に景気回復が実感できる年となるよう期待しております。

最後に株価動向ですが「亥年は株が上がる」との格言から日経平均の 18,000 円台を予想する証券会社もありますが如何でしょうか？期待したいと思います。

あと、ICキャッシュカードについて少しふれます。オレオレ詐欺や振り込め詐欺等卑劣な金融犯罪が多発しております。今年 1 月からは 10 万円を超える現金振込みは本人確認が必要となりました。信金では手の平静脈(生体認証) ICカードを昨年 4 月から導入しました。ICカードは偽造も難しいカードです。現在使用している磁気ストライプカードはあと 4 年で使えなくなるかもしれませんので早めに切り替えておかれた方が良いでしょう。

最近では株取引もインターネットの時代ですが、私共は対面取引をも大切にしておいて行ってきたいと思っております。

お陰様で諏訪信用金庫も 3 月で創立 70 周年を迎えます。これもひとえに皆様方のお陰と感謝申し上げます。ありがとうございました。

ニコニコボックス

今井紅・牛山幸一・大橋正明・小口泰史・小野仁・小松正二・佐藤有司・白鳥修次・高木昭好・濱透・林裕彦・林靖高・矢島實・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫 諏訪信金、花岡理事長の本日の卓話を楽しみにしております。よろしくお願ひします。

尾関秀雄 野口会長の告別式には例会日と重なりましたが、多くの会員の皆様のご参列を頂きありがとうございました。

太田博久・矢崎宏明 前回卓話を頂いた三沢球団社長に出席頂き、信濃グランセローズ球団説明会を盛会のうちに開催できました。

坂井忠彦 花咲き鳥うたう、春も近づいて来ました。元気を出しましょう。

大橋正明・小口泰史・小松正二・佐藤有司・竹村一幸・畑博明・濱透・浜俊弘・林靖高・藤森睦美・宮坂宥洪・矢島進・山岡晴男・吉江信介・宮坂宥澄 女性会員の皆様、バレンタインのチョコレートありがとうございました。

出席報告

会員数50名、出席者39名、出席率78.00%、前々回訂正90.00%

お知らせ

畑 博明 会員

最近では医療関係を取り巻く環境が厳しく医師不足となっています。塩嶺病院では日本大学より医師の派遣をして頂いております。そこでこの度、日本大学医学部附属病院が統括され、平山篤志教授が循環器内科教授に就任された記念にカノラホールで記念講演会を開催します。また、諏訪交響楽団による演奏会と私も講演をさせていただきます。ぜひ、多くの方に足を運んで頂きますようよろしくお願いします。

◎2月18日(日) 岡谷市カノラホール 大ホール

午後7時開場 7時30分開演 参加費 無料

講演 「心臓の病気について」 健康保険岡谷塩嶺病院 院長 畑博明先生

記念講演 「急性心筋梗塞症に対する治療の最前線」

日本大学医学部教授 平山篤志先生

記念演奏会 諏訪交響楽団 オーケストラ

2006-2007年度 RI テーマ

率先しよう

LEAD THE WAY

